

4月定例教育委員会会議録

1	日 時	令和6年4月26日（金）午後3時30分から午後4時30分まで
2	会 場	磐田市役所西庁舎3階304・305会議室
3	出席者	山本敏治教育長、鈴木好美委員、秋元富敏委員、大橋弘和委員、阿部麻衣子委員
4	出席職員	鈴木壮一郎教育部長、鈴木雅樹教育総務課長、大學裕学校づくり整備課長、石田和代学校給食課長、森下昌司学校教育課長、天野敏之放課後活動課長、伊東直久中央図書館長、神谷英雄文化財課長、清水大輔幼稚園保育園課長、山下和洋自治デザイン課長、兼子順子スポーツのまち推進課長、藤田昌弘ひと・ほんの庭 にこっと館長

（傍聴人0人）

（進行委員：阿部麻衣子委員）

1 開会

2 教育長あいさつ・教育長報告

改めましてこんにちは。お忙しい中、お集まりいただき誠にありがとうございます。

本日は、新たなメンバーで、今年度初めての定例教育委員会となります。どうぞよろしくお願いたします。

ご案内のとおり、今年度「学校づくり整備課」が教育委員会内に新たに設置されました。先日の総合教育会議の議題「公共施設の今後の在り方について」の中でも説明がありましたように、市内の多くの公共施設が昭和40年代から60年代前半に建設されました。教育施設は、市内公共施設の半分近く（42%）を占めており、老朽化度が高くなってきている教育施設を今後どのように改修、整備をしていくのか、その方向性を具体化していく時期に来ています。大きな予算が必要になってまいりますので、今まで進めてきた学府一体校整備の考え方も含め、今後の方向性を、市長部局との強固な連携の中で探っていきたいと考えています。

学校づくり整備課の事業以外にも、時代の流れの中で、DX化を始め、子どもたちや市民の皆様方がより利用しやすい、学びやすい環境をどのようにつくっていくのか、学校・園ではこれからの変化の激しい時代をしなやかにたくましく生き抜いていくために必要な資質能力をどのように育成していくのかなど、各課には、ハード面、ソフト面にそれぞれ様々な課題があります。

現場の実態や声を適切に把握し、多くの皆様方との積極的な対話を通して、知恵を出し合い、課題を解決したり、最適解を導き出したりしていくことができる1年になればと考えています。どうぞよろしくお願いたします。

先月の3月1日に、県立磐田南高等学校定時制課程の卒業式に参列をさせていただきました。ご案内のとおり、定時制課程の生徒は、夜間に4年間ないし3年間（3修制）の教育課程の中で学んでいます。卒業式では、自信にあふれた表情で卒業証書を授与されている姿がとても印象的でした。

卒業生代表の答辞の中では、「年齢や国籍、生活環境が異なっても互いを尊重し、支え合うことのできる仲間に出会え、大きな自信と光を手にした私たち」「アルバイトで疲れた後の学校生活も足取り軽く登校できたのは楽しい仲間たちに恵まれたから。教室に行けば明るい笑顔に癒される自慢の仲間たち。」「4年間の中で、挫折しそうになったこともあったがそれを支え背中を押してくれたのは、机を並べてきた仲間たち」等々と、支え合い励まし合いながら成長することのできた喜びと仲間たちへの感謝の気持ちが述べられるとともに、先生方から受けた愛情や家族への感謝の気持ちについても語られ、感動のひと時でした。その中で、仲間たちと過ごした教室のことを「帰る場所」と表現していたこともとても印象的でした。

「令和の日本型学校教育の構築を目指して」の答申には、学校教育の本質的な役割として、「学習機会と学力の保障」「社会の形成者としての全人的な発達・成長の保障」「安全・安心な居場所・セ

ーフティネットとしての身体的・精神的な健康の保障」の3つがあげられています。本卒業式の中で、改めて3つめの「安全・安心な居場所・セーフティネットとしての身体的・精神的な健康の保障」の重要性を再認識させられました。この役割・機能は、学びのベースとなるものであり、不登校児童生徒の増加やいじめの防止等への課題解決にもつながることから、各校におけるこの役割・機能の在り方について、今後さらに研究を深めていきたいと考えています。

それでは、本日はどうぞよろしくお願いいたします。

3 前回議事録の承認

3月26日定例会に関して

- ・修正の意見なし
- ・原案のとおり承認

4 教育部長報告

○総合教育会議の冒頭で市長から「少子化について」本市の状況について話がありました。新聞では744自治体が消滅するなどの記事もありました。そこで少子化について少し深掘してみたいと思います。市長は男性・女性の年齢構成で説明されましたが、出生数を1970年代と比較すると210万人/年→75万人/年へと減少しています。しかし、夫婦が持つ子供の数は約2人と変わっていません。35歳までに結婚したいと思っている方も9割と高い割合を維持しています。

ではどうして出生数が減っているのか？

日本の未婚率は1970年の42%、これが出生数と初婚同士の婚姻数が連動し、簡単に言うと「カップルが4割まで減ったので出生数も4割になった」と考えられています。また、結婚する年齢が高齢化しているいわゆる「晩婚化」も進行しています。結婚年齢ですが15年前は男性27歳・女性26歳であったのが男性31歳、女性29.4歳となっています。

それでは磐田市はどうでしょうか？令和4年の出生数は1,041人、令和5年は911人、年度では892人と900人を切ってしまいました。母子手帳交付数から推測すると令和6年は確実に900人を下回り850人前後と推計します。

「妊娠」については、現在晩婚化が進み仮に30歳で結婚し子供が欲しいと思って妊活するも授からない。医療機関を受診するのには覚悟が必要で数年後になります。遅くなればなるほど授かりにくくなってしまいます。データでは不妊治療により出産された方は全体の15%になっており、出生数約900人の磐田市では約140人が不妊治療による出産になります。そこで、本市では今までの先進医療費補助以外の（県内初）不妊治療費の自己負担分8万円を助成し、若い方ができるだけ早期に医療受診をしていただくこととしました。（東京では卵子の凍結保存の補助が始まり一人80万円まで助成しています）

次に「労働の視点」で見ると、本市の2020年の製造品出荷額は全国29位、県内では静岡・浜松・湖西につき4位の1兆4千億円（浜松市は1兆8千億円）。モノづくりの街として製造業が多い静岡県西部地域にあっては、男性の就職先としては大手企業やその下請けなども数多くあり魅力ある働き場所ですが、若い女性が希望する事務職の雇用が少ないのが現状です。これが一つの要因として、20代は男性9,000人に対し女性7,000人と差が生じています。そのため、本市で働く方が、本市に結婚して住む場合の家賃補助や住宅改修補助制度をスタートさせています。モノづくりのまちとして新たな手法による人口獲得策が必要と考えます。

最後に、本市が取り組んでいる支援策「子供を授かりたい方が授かれるように」「だれ一人取り残さない」を継続しつつ「新たな出会いの場の創出」「企業を巻き込んだ労働市場改革」、住んでもらえるような「居住環境づくり」がこれから磐田市の向かう方向だと考えます。以上、出生数についての情報提供でした。

<質疑・意見>

なし

5 議事

・議案第21号 磐田市社会教育委員の委嘱について

○磐田市社会教育委員の任期は2年間で、現在の委員の任期は令和7年5月末日までとなっていますが、事情により変更するものです。学校教育関係者選出の岩崎光宏委員を解職し、補欠として伊熊一隆青城小学校校長を委嘱するものです。なお、伊熊委員の任期は、現在の委員の残任期間である、令和7年5月31日までとなります。

<質疑・意見>

なし

<議案の承認>

一同同意

審議の結果、議案第21号は原案どおり承認された。

・議案第22号 学校体育施設利用運営協議会委員の委嘱等について

○本協議会は、磐田市立学校の施設開放に関する条例に基づき設置するもので、安全かつ効率的な学校体育施設の利用計画の策定及びその推進について協議し、教育委員会に対して意見を述べる事ができるとしています。任期は1年間で、令和7年3月31日までです。

・議案第23号 学校体育施設利用管理指導員の任命について

○学校体育施設の開放に伴う危険防止、施設の管理その他指導を行うため学校に学校体育施設利用管理指導員を置くもので、教育委員会が学校体育施設利用運営協議会の意見を聴き任命するものです。任期は1年間で、令和7年3月31日までです。

<質疑・意見>

なし

<議案の承認>

一同同意

審議の結果、議案第22号、議案第23号は原案どおり承認された。

・議案第24号 磐田市立幼稚園等防火管理者の辞令発令について

○磐田市立幼稚園管理規則第16条第2項で、防火管理者は主任幼稚園教諭をもって充て、教育委員会が命ずるとしていることから、幼稚園10園、幼稚園型認定こども園5園、計15園における防火管理者15名の発令について承認をお願いするもので、任期は1年です。

<質疑・意見>

なし

<議案の承認>

一同同意

審議の結果、議案第24号は原案どおり承認された。

・議案第25号 学校運営協議会委員の任命について

○各校から出された学校運営協議会委員について、このように進めていきます。任期は1年です。

・議案第26号 いじめ問題対策連絡協議会委員の委嘱又は任命について

○任期は令和7年5月31日までです。

・議案第27号 いじめ防止等対策推進委員会委員の委嘱について

○任期は令和7年5月31日までです。

<質疑・意見>

なし

<議案の承認>

一同同意

審議の結果、議案第25号、議案第26号、議案第27号は原案どおり承認された。

・議案第28号 磐田市歴史文書館運営審議会委員の任命について

○当審議会は、磐田市歴史文書館条例に基づき設置されたもので、6人の方に委員を委嘱しております。議案は、4月の人事異動により総務部長が代わりましたので、新たに菌田総務部長を委員に任命するものです。なお、任期につきましては規定により、前任者の残任期間となります。

・議案第29号 磐田市旧見付学校協議会委員の任命について

○当協議会は磐田市見付学校条例に基づき設置されたもので、8人の方に委員を委嘱しております。議案は、4月の人事異動により、磐田北小学校の清水校長が退職されましたので、新たに磐田北小学校校長となりました吉村氏を委員に任命するものです。

・議案第30号 磐田市指定文化財の指定について

○3月14日に開催されました文化財保護審議会において、句坂中村絵図について審議した結果、指定することが適当であるとの答申を受けたものです。

・議案第31号 磐田市指定文化財の指定について

○同じく、3月14日に開催されました文化財保護審議会において、掛塚祭竹馬について審議した結果、指定することが適当であるとの答申を受けたものです。

・議案第32号 磐田市指定文化財の指定解除について

○同じく、3月14日に開催されました文化財保護審議会において、遠州一言村十景絵巻について審議した結果、指定を解除することが適当であるとの答申を受けました。こちらについては、所有者が指定物件を亡失したことにより指定解除となるものです。

<質疑・意見>

なし

<議案の承認>

一同同意

審議の結果、議案第28号、議案第29号、議案第30号、議案第31号、議案第32号は原案どおり承認された。

6 報告事項

(1) 自治デザイン課

<質疑・意見>

なし

(2) スポーツのまち推進課

<質疑・意見>

なし

(3) 文化振興課

<質疑・意見>

なし

(4) こども未来課 ひと・ほんの庭 にこっと

・新中学生応援事業について

○令和5年度事業の概要については、例年どおり、小学6年生の児童の保護者に3万円分の商品券をお渡ししました。変更点については、事業名を新中学生スタートアップ応援事業から新中学生応援事業に変更しました。また、対象品目に学校で使用する鞆・靴を加えて、使用しやすい環境を整えました。受取結果については、受取率98.4%、主な取組については事業周知を広報いわたへ掲載、また、取扱店への事業案内をしました。保護者には11月に案内通知を配布し、引換方法の案内やオリジナルの下敷きを送付しております。また、未申請者には、申請案内を1月にしております。その結果、返信メッセージを新中学生から251通いただきました。本庁舎1階の展示ブースに今月末まで掲示しておりますので、ご覧いただければと思います。また、6月にはにこっとの展示ブースにも展示をさ

せていただく予定です。今年度も同様に事業を開始していきたいと思っておりますので、6月取扱事業者の募集から始まりまして、保護者宛て通知を進めていきたいと思っております。

<質疑・意見>

■受け取らなかった20人の方に対して1月にもう一度案内されていますが、この方たちは案内を見ていなかったのですか。

□そこまでの確認は取れていないですが、学齢簿にない場合、外国人の方については直接、それ以外の学校に通われている方については、子どもを通じて通知をしておりますので、皆さんの目に届くような形で工夫はさせていただいています。

■特に必要ない、などのお返事をいただいているというわけではないですか。

□お返事はいただけていないです。

■自分の子どもたちのときは、使えるものがすごく限られていて使いにくいと思っていましたが、新しく靴と靴が加わったことの反響は親御さんたちからありましたか。

□親御さんからの反応は私の耳には届いていないです。実際にお店で買って、お店から請求が届くという形になっていて、実際その商品券を渡すときには親御さんと顔を合わせますが、現時点では分かりません。

□今回品目を増やしたのは、長年にわたる保護者からの要望に応じて対応させていただいたものですので、声がどの程度届いているのかを把握しておりませんが、喜んでいただいているものと認識しております。

(5) 幼稚園保育園課

○4月10日の入園式につきまして、教育委員のみなさまにご臨席いただき、ありがとうございました。

<質疑・意見>

なし

(6) 教育総務課

<質疑・意見>

なし

(7) 学校づくり整備課

・令和6年度学校施設整備事業概要について

○トイレの改修について、今年度は10校の改修をいたします。昨年度は3校、今年度10校で来年度に残りの11校で一巡をするというスケジュールでおります。全てのトイレを改修できるわけではないため、一巡をした後に、どのような優先順位をつけて、どこまでやっていくのかがこの先の課題になってきます。学校からの情報が入った場合には、ぜひ寄せていただきたいと思っています。

学校づくり整備課がスタートして最初の活動としまして、まず現場を見るということで、教育部長含めて私と担当と3名で、市内の全小中学校を回っているところです。その中で長野小では、トイレがきれいになって子どもたちが喜んでという生の声を、本当に嬉しそうに教頭先生からいただきました。確かに見ればきれいですし、今までどうしても学校でトイレができなくて、走って帰ったお子さん等も使えるようになったと喜んでくださっていますので、この事業は本当にお金も手間もかかりますが、今年度進めていきたいと考えております。

空調設置事業は億単位でお金がかかる中で、優先度を示しながら設置場所を決めていきます。年度末になると、来年度LD教室や外国人指導の教室を増やそうという動きが出て、学校現場は空いている教室を使ってスタートしますが、エアコンがないという話になります。そのようなことを想定しながら、毎年度の予算編成前には多少そのような動きができるように、学校教育課等と連携しながら考えていきたいと思っています。またご報告をしますが、そのような課題も出てきたということでご認識いただきたいと思っております。もうどうしても暑くて駄目だとなった場合には、それほど効きはよくないとは思いますが、窓枠付けの簡易的なエアコンであれば他にも移動ができるため、ローテーションなども考えながら、対応していきたいと思っています。

<質疑・意見>

○エアコンはぜひ連携しながらお願いします。

トイレについては、今日の午前中に静岡大学教育学部附属浜松小中学校のトイレを見せていただいたときに、磐田市もただ便座を様式に変えるだけでなく、トイレの中を乾式にしたり、壁をきれいにしたりと、総合的に改修していることを伝えました。

(8) 学校給食課

<質疑・意見>

なし

(9) 学校教育課

- ・地域学校協働活動推進員の委嘱について
- ・結核対策委員の委嘱及び任命について
- ・就学支援委員の委嘱及び任命について

○大学及び病院の関係者、市の職員、学校の校長を初めとする 30 名に事務局 9 名を加えて、総勢 39 名の組織です。就学支援に関しましては、年々対象とされる児童生徒が増えている現況の中で、それに対応する組織となっています。いろいろなどころでお力をいただいているわけですが、こういった方々に委嘱しますので、よろしくをお願いします。

- ・アレルギー対応検討会委員の委嘱について

○こちらも多く外部の方々の力を借りている会で、総勢 10 名に委嘱をしていきます。

- ・医療的ケア児支援運営協議会委員の委嘱について

○こちら昨今、ニーズが増えていると思っております。お知恵をいただきながら進めていきます。

- ・新たな教育支援センターの民間委託について

○本日、市長の決裁をいただくことができました。9 月にスタートするためのプロポーザル等々を進めていくためということもあって、教育長、教育部長、教育総務課長のご助言ご指導もいただきながら、現状の不登校児童生徒への対応もありますし、新たな学び方を模索していく一つの手がかりとして、進めていきたいと考えております。

<質疑・意見>

■実施事業の予定で 5 月 27 日ふるさと教師塾（特別）とありますが、特別とは何ですか。

□教員採用試験対策です。一次試験は終わっているの、面接対策をしています。

(10) 放課後活動課

○SPO☆CUL IWATA クラブ活動開始を 5 月 7 日以降随時としましたが、5 月 13 日に外部指導者と部活動指導者研修会を予定していたことから、この日に SPO☆CUL IWATA クラブの代表者も来ていただくことになりました。この日に開始式を行いまして、スタートという形に修正をさせていただきます。

- ・磐田スポーツ部活指導者の委嘱について
- ・磐田市中学校部活動外部指導者の委嘱について

○22 名に外部指導者を委嘱します。

- ・磐田市立中学校部活動指導員の配置状況について
- ・部活動の地域連携・地域移行 令和 6 年度の取組について

○現在 7 クラブで募集を開始して対応しているところですが、デジタルプラットフォーム「Sgrum」の導入も終えまして、各クラブの実証がスタートしています。希望する中学生保護者も「Sgrum」を使って申込みをするという形です。また、学校部活動の再編を加速化、種目別検討会の実施をしながら、広報活動を強化し、取組の見える化に積極的に取り組んでいきたいと思っております。

- ・放課後児童クラブの運営について

○4 月 1 日現在の待機児童人数は 58 名で昨年比 2 名減です。

- ・放課後児童クラブの民間委託について

○磐田市を 4 ブロックに分けて 4 事業者を選定するプロポーザルを、先日市のホームページで公告させていただいたところです。5 月 31 日に審査会を実施しますが、阿部委員に選定委員をお願いする

ことになりました。

<質疑・意見>

■SPO☆CUL IWATA の募集人数等の状況を教えてください。

□学校部活動の状況も調べて、現況を今後報告させていただきます。

(11) 中央図書館

<質疑・意見>

なし

(12) 文化財課

<質疑・意見>

なし

7 協議事項

8 その他

・「静岡県市町教育委員会連絡協議会」参加報告

○富士市で行われた静岡県市町教育委員会連絡協議会に参加してきました。総会の後に部活動の地域移行・地域連携、コミュニティ・スクール、不登校・いじめのブロックに分かれ、私は部活動のグループで、掛川市、富士宮市、磐田市、河津町、菊川市、伊豆市の6市町で意見交換をしました。やはり掛川市が1番進んでいて、民間の29のクラブチームを掛川市が公認するという形だそうです。磐田市は今年の4月から7クラブの募集をかけるということを報告しましたが、他の市町はほとんど進んでいないというのが現状で、受皿がなかったり河津町だと人がいなかったり、中学校が一つしかないものでしたら良いか分からないということでした。

○部活動のことは先日全市の教育長が集まったところで話題になりました。令和3年度から実証事業でやっている掛川市とか焼津市、沼津市はある程度形になってスタートしているところですが、例えば、総合型スポーツクラブがあるところとないところ、沼津市はアスルクラロがある程度中心になって進めていて、バックボーンがあるところとないところがあります。それと、伊豆半島は子どもたちがクラブに集まるまで距離も遠いのでどういう枠組みにしたら良いのか、なかなかイメージが湧かないなど、地域によって状況が違うことは分かりました。スポーツ庁などが多くの方針を出していますが、なかなか思うように行かないというのが率直な感想でした。磐田市も一生懸命進めようとしていますので、ぜひ、情報をどうやって発信して、磐田はここまでやっているというところを市民の皆さんに伝えるのかという辺りも含めて、耳に入りましたらぜひ教えてほしいと思います。

・竜洋西小学校での事故に関する報告

○施設管理瑕疵事項の専決処分の報告を5月議会でするので報告します。令和5年10月24日午後6時45分頃、スポーツ少年団所属の児童が竜洋西小学校の体育館の雑巾がけをしていたところ、以前に使ったラインテープに引っかかり、唇の切れや顔面の挫傷があって、通院治療が必要になっています。これにつきまして、保険会社の弁護士から、そのお子さんに過失を取る理由がないということで、施設管理事故として扱うべきだという見解をいただきました。人身損害賠償ということで合計金額20万1,580円をもちまして示談和解ということで成立をしております。支払いも4月に済んでおりますので、議会に報告させていただきたいと思っております。

○また同じようなことがあってはいけないので、体力テストで反復横跳びなどをする際のラインテープは必ずはがすようにというのは、文書でも出しましたし、定例校長会の中でも指示をさせていただいています。十分注意していきたいと思っておりますので、よろしくをお願いします。

9 次回の開催予定

・定例教育委員会

日時：令和6年6月4日（火） 午後5時30分から

会場：市役所西庁舎 3階 特別会議室

10 閉会